

「核兵器全面廃絶国際デー」

17人が参加、署名67筆

広島市・金座街



「核兵器全面廃絶国際デー」の26日、県原水協と県被団協は中区・金座街で「ヒバクシャ国際署名」行動に取り組みました。県原水協の神部代表理事、県被団協の佐久間理事長、大越事務局長らが、「きょうは国連が提唱した“核兵器全面廃絶国際デー”です。2013年から始まり、2年前の“核兵器禁止条約”の採択につながりました。これを一日も早く発行させるために、1筆、1筆の署名が力を発揮します、などと訴えました。横浜から旅行できている50代

の女性は、昨日（25日）、推進連絡会が元安橋で行った署名のニュースをテレビで見て「外国の方があんなに署名をされるんですね」と感動し、自ら署名しました。また60代の男性は父親が寺町（爆心から1キロ弱）で被爆したが、88歳まで生きた。核兵器は許せない、と語り署名しました。

行動には17人が参加し、約30分で67筆が寄せられました。県原水協では、引き続き10月「6・9行動」、同24日から始まる国連軍縮週間での行動に建家各地で取り組みを強めることにしています。



28日（土）は
地域訪問署名行動

10時県原水協事務所集合
10時半頃から1時間程度

サーロー節子さんの決定的自伝
「光に向かって這って行け」
1800円（送料別）
県原水協で扱っています。

署名推進連絡会が 元安橋で「ヒバクシャ国際署名」

2つの県被団協や県生協連など
でつくる「ヒバクシャ国際署名広島
県推進連絡会」は、25日昼、元安
橋で「ヒバクシャ国際署名」に取り
組みました。被団協などから30人
が参加し、観光客や市民に署名を呼
びかけ、約30分間で356筆が寄
せられました。県被団協（佐久間理
事長）の吉岡幸雄さんは、外国人観
光客に、今も残る足のケロイドを見
せ（上の写真）、原爆の熱線のすさ
まじさを説明していました。またこ
の日の行動には元平和文化センタ
ー理事長のスティーブ・リーパーさ
んも参加し、ともに署名を呼びかけ
ました。さらに、元プロバスケット
ボールの選手で、今年6月から8月
にかけてアフリカ12カ国で原爆
展を開いた森下雄一郎さんも参加
し、署名活動に協力しました。この
日はイギリスから観光客がもっと
も多く、オーストリアからの観光客
も署名してくれました。

新聞・テレビ各社が取材し、報道
しました。



海軍の復活を許すな！

へり護衛艦「かが」空母化反対集会 I N 呉

10月6日（日）午後1時～ 呉市中央公園（呉市役所裏）

集会後、海自呉総監部までデモ行進

※広島駅新幹線口1階からバスが出ます。①10時発 ②11時45分発

①便は集会前に呉海自基地を見学。②便は集会後に海自呉基地を見学

バス代1500円。現地で呉平和委員会担当者が説明します。

バス申し込みはFAXで082-245-2502へ